

# 科目区分：人間科学科目

授業科目名	生体の機能（生体の機能と薬）					学期	曜日	校時
英語名	Basic Human Physiology (Functional Physiology and Drugs)							
担当 教官名	芳本 忠 伊藤 潔	単位数	2単位	必修 選択	選択	前期	月曜日	3校時
授業のねらい・内容・方法								
地球上に人類が現れてから常に病気との戦いであり、薬はそれと同じ歴史を持っている。最初、薬は試行錯誤によって見出され、近年スクリーニングと言葉は変わっても同じ方法で開発が行われてきた。最近、ヒトの遺伝子が解読され、生体の機能に基づく新たな薬の開発法が展開しようとしている。本講義では薬について、毎回身近かな薬を取り上げ、生体との関係から解説する。								
テキスト、教材等								
特に指定しない。必要に応じてプリントを配付する。								
対象学生	成績評価の方法					教官研究室		
全学部	出席点とレポート							
授 業 計 画								
第1回 薬の歴史								
第2回 生体の機能 (1) 代謝								
第3回 (2) 恒常性								
第4回 生体と酵素 (1) 酵素の働き								
第5回 (2) 診断と酵素								
第6回 (3) 酵素の立体構造								
第7回 (4) 酵素の阻害剤と活性化								
第8回 酵素阻害剤と薬 (1) 抗生物質								
第9回 (2) 高血圧、抗コレステロール								
第10回 (3) 制がん剤、抗ウイルス								
第11回 生体の機能に基づく創薬 (1) ゲノム情報								
第12回 (2) プロテオーム解析とは								
第13回 (3) タンパク質の構造に基づく創薬								
第14回 (4) テーラーメイド医療								